

## 「食思不振を主訴に近医から転院となった 98 歳男性」

瀬戸内徳洲会病院 2 年次研修医  
岡田 英男

食思不振を主訴に近医から転院となった 98 歳男性。もともとは血液検査上、炎症反応の亢進があり、肺炎として抗生剤 PIPC/TAZ 点滴により加療されていた。

来院時の血液検査で Cr7.96 と高度の腎不全があり、1 週間前の Cr 値が正常だった事、FEUN78%、尿潜血+、尿蛋白+等の所見から腎性の急性腎不全として加療を行った。